

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立富田中学校

校長 市森 幸子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者や地域の方々が主体的に学校運営に参画し、本校の教育目標である「確かに生きる」の実現に向けて協働していく。その中で特に、「授業を大切にする学校」「一人ひとりを大切にする学校」「保護者や地域と協働し高め合う学校」の3つの決意を意識して取り組んでいく。運営協議会は、「生徒の実態を把握し、協議を行う」「学校教育活動を地域に広める」「生徒と地域の関わりを深める」の3つの視点を大切に推進していく。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①PTA除草活動【8月26日（土）開催】

例年、保護者の皆さんや地域の皆さん、教職員が一緒になっての取組みが「PTA除草活動」である。今年度は保護者・地域の皆様と生徒を含め、総勢150名ほどの参加があった。またCS運営協議会委員の方や登校時の見守り活動を継続いただいている学校協力員さんにも、休日等を利用して学校周辺の除草作業に取り組んでいただいた。そのような地域の皆様方のあたたかい気持ちがしっかりと生徒にも伝わっていると思う。教育活動に安心・安全に取り組める環境を作っていただいた。学校づくりの3つの決意の一つである「保護者と地域とともに高め合う学校」を目指すうえで欠かせない活動となっている。



②防災学習(炊き出し訓練、防災講話等)【11月11日（土）土曜授業として】

11月11日の土曜授業。2年生では『防災学習』に取り組んだ。『自助・共助・公助』の観点から災害への備えについて意識を高めることを目的とした内容である。

ア 防災講話

「防災講話」の講師は、富田中学校で図書支援員として長期にわたりお世話になっている澤田浩一さん。毎週月・水・金に図書室で子どもたちへの図書にかかわる支援を継続していただいている。伊勢湾台風に遭われた経験談や地域に関する多くの資料も紹介されながら、自然災害の脅威についてお話しをいただいた。今後、中学生が地域の防災に対して重要な役割を担っていくことを学んだ。普段から、子どもたちにあたたかく寄り添いながら対応していただく澤田さんが講師だからこそ、安心して話を聴くことができた。

イ アルファ化米の炊き出し

ニイミ産業さんを講師として、『ガスボンベの取り扱い』について学んだ。子どもたちが「安心・安全」に体験学習ができるように、とても丁寧で分かりやすく、実演を交えた説明をしていただいた。その後、プロパンガスのコンロを実際に使用し、お湯を沸かし、アルファ化米の炊き出しを行った。その日の昼食として、全校生徒と教職員でおいしく食べる事ができた。



③中学生と語る富田の未来【2月27日（月）富田中学校体育館にて】

2年生は1学期に「富田再発見」と題して地域フィールドワークを行った。『祭り』『産業・商店街』『神社仏閣』『交通』『防災』『環境』などのテーマをもとに、2年生各班にて一人一台タブレットを活用し、調べ学習として富田地区に出かけ、地域の方々と直接お会いすることができた。



そこで聞いたことや調べたことなどを「富田をよくしていくために」「富田の魅力」「富田の良さ」の視点でPowerPointにまとめ、学級内で発表した。

当日は、富田地区まちづくり協議会を中心に8名の地域関係者をお招きし、代表班によるPowerPointにてのプレゼンテーションと、生徒と地域関係者のみなさんと「富田の未来について」の意見交流を実施できた。中日新聞さんやCTVさんが取材に訪れ、富田中の活動を情報発信してもらうことができた。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度は5回の運営協議会を開催できた。そのうち3回は授業参観、2回は体育祭と文化祭の参観をしていただいた。実際に生徒たちの様子を複数回見ていただけたのはよかった。また、2年生の地域のフィールドワークではCS委員さんを介して、地元の方を講師として紹介していただき、生徒と直接お話する機会に恵まれた。それぞれの分野において「ふるさと富田」について詳しく教えていただくことができた。



さらに、体育祭の開催にあたっては、これまたCS委員さんにお世話になり、富田地区社会福祉協議会からスピーカーセットをお借りすることができ、効果的なアナウンスをすることができた。

第5回の運営協議会では、給食試食会を行った。生徒たちの学校生活をより具体的に知っていただく機会となった。「とてもおいしい」「食べ盛りには少ないかも?」「保護者としては大変助かる」などの感想を頂戴することができた。



生徒アンケート「地域の人や保護者と協働した学習や活動に取り組むことができましたか」は50%。保護者アンケート「お子さんは、地域の人や保護者と協働した学習や活動に取り組んでいましたか」は61%、職員アンケート「地域の人や保護者と協働した教育活動を計画的に実施しましたか」は86%等で「思う」「どちらかといえばそう思う」という回答であった。教職員と生徒に数値の乖離が見られるのは、生徒への説明と意味づけが不十分なことが考えられる。次年度以降、CS運営協議会に生徒も参加するなど、よりよい連携の仕方を検討していきたい。

3 今後に向けて

第5回の運営協議会では今年度の「学校評価のための質問紙調査結果」を提示し、それらをもとに様々な意見を頂戴した。もともと富田地区の地域の方々や保護者のみなさんには、教育活動に大変熱心に参加し協力をいただいていた。また、生徒たちももっと地域に関わりたいと考えている。先にあげたアンケート結果も期待の裏返しなのかもしれない。令和6年度に向けて、富田地区の関係団体と日程調整をしながら、防災訓練などを中心に地域行事にも子どもたちが参加しやすい体制づくりを進めているところである。

これからもCS運営協議会が核となって、地域—家庭—学校が一緒になって、開かれた学校づくり、保護者や地域と協働し高め合う学校づくりを進めていきたいと考えている。

別紙B

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立富田中学校

委員長 山下 純生

校長 市森 幸子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回CS運営協議会	【授業参観】 ○運営協議会委員の紹介及び委嘱 ○R4 学校自己評価分析、R5 学校づくりビジョンの承認 ○学校の様子の報告及び意見交換等
6		
7	第2回CS運営協議会	【授業参観】 ○学校指定物品・地域行事・校内花壇整備について ○学校の様子の報告及び意見交換等
8		
9	第3回CS運営協議会	【体育祭参観】
10	第4回CS運営協議会	【文化祭参観】
11		
12		
1		
2	第5回CS運営協議会	【授業参観】 ○R5 学校自己評価結果分析およびR6 学校経営について ○学校の様子の報告及び意見交換・情報交換 ○給食試食会
3		